

たかむくの まちづくり

No.42

協議会
広報紙

高
椋
の
人
口

世帯数	2,927戸
人 口	7,595人
男 女	3,734人
	3,861人

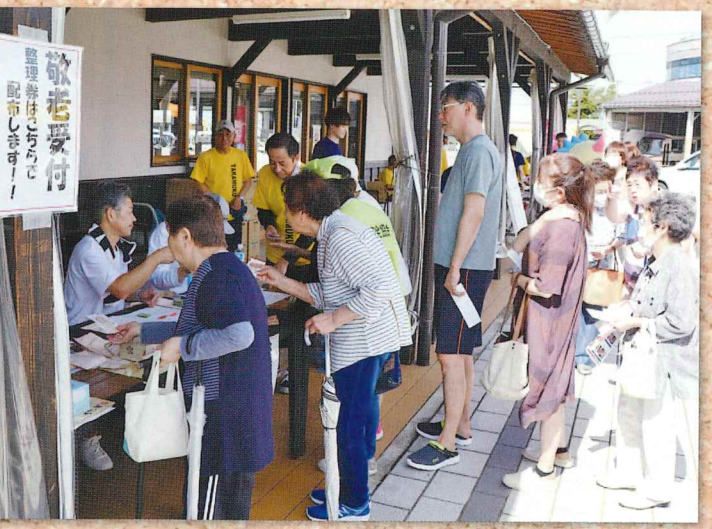
R8.1.31 現在

目次

- p2~3 … まち協の後期活動紹介
- p4 … 高椋地区防災計画推進委員会
- p5 … クリスマスふれあいコンサート
- p6 … 高椋まめ知識、編集後記ほか



高棕ふれあいまつり
9月21日(日)





田んぼアート稲刈り
9月27日(土)



今年は「坂井ほや丸」やざ



収穫した米をほや丸にあげたぞ

西大寺お米おくり
11月12日(水)



古城まつり総踊り
10月12日(日)



高椋小学校児童がたくさん参加してくれました



今年も敢闘賞を受賞

令和8年度より高椋地区防災計画推進委員会が本格始動します

高椋地区は令和6年度に「防災計画策定委員会」を立ち上げ、翌7年度に「高椋地区防災計画推進委員会」に切り替え、今後5年間の大まかな計画をまとめました。

令和8年度からは各区のご協力をいただき、新たに防災推進委員を増員し、計画を実施すべく本格的に活動を始めることになりました。そこで今回は、防災計画推進委員会がどんなことをするのか、ご紹介します。

1. 地域の実情に合った「防災対策」を伝える

私たちは、推進委員会で作った「高椋地区防災計画」に挙げられた防災対策を、地域の人々に広く知ってもらうことに重点を置いて活動します。そこで次の3つの部門に分かれ、計画に基づいた防災情報や訓練・体験会などを、高椋地区の皆様にご提供していきたいと考えています。



訓練

避難所運営ゲーム(HUG)
災害対応訓練ゲーム(SUG)
防災訓練の実施
各区へ出前訓練



学習

子ども対象の防災教室
防災を「気軽に・身近に」
感じてもらうミニ講座や
体験会の開催



広報

高椋地区防災カレンダー2027の作成
コミセンだより等で、年間を通して必要
な防災情報を随時提供

子ども達と
一緒に作れたら
いいなと
思っています

防災計画推進委員会では、上記の部門において、高椋地区の皆様が気軽に防災に触れていただけるよう、様々なきっかけを作っていきます。開催についてのお知らせは、各戸配布の「コミセンだより」または各区長さんや防災計画推進委員さんを通じて行いますので、お知らせが来た時はふるって参加してください。

2. 災害に強い高椋地区をつくる

国は地域の防災対策を強化し、災害発生時に迅速かつ効果的に対応して国民の生命と財産を守るため、災害対策基本法第40条で「都道府県地域防災計画」を、さらに42条の2で「市町村地域防災計画」の作成とその見直しを定めていますが、もはや区レベルの自主防災組織頼みの取り組みには限界があると感じています。

そこで、高椋地区防災計画推進委員会としては、今後災害が発生した場合の備えや、地域の事業者との「災害時協力協定書」の締結を目指したいと考えています。いざ災害が起こった時、救援が来るまでの1~2日目に地域が協力し助け合って、犠牲者を一人でも減らすことが大事となります。災害時に避難場所や物資供給をしていただけたら、住民として安心して住むことが出来るのではないのでしょうか。

なお、災害発生時に協力いただける企業様との協定書は必要で、将来的には企業・病院・学校・輸送機関などの「災害時協力事業協定書」の締結まで作業を進め、

地震・土砂・大雪災害等、平常時・発災時のシミュレーションを、地域の誰もが取り組める内容まで詰められたらと思います。今後は協力事業所の選定や行政へのすり合わせも行っていかなければならないと考えています。

今年度から新しい推進委員も加わり嬉しいかぎりです。さらなる安心感の持てる地域の防災システムを作ろうではありませんか。
(文・防災士 吉田幸憲)



ジャズの生演奏でメリークリスマス クリスマスふれあいコンサート

12月20日(土)、たかむく古城ホールにてクリスマスふれあいコンサートが開催されました。

今年は白井淳夫氏と仲間たちによる本格的なジャズコンサートということで、高棕地区だけでなく地区外・市外のジャズファンが集いました。



出演アーティスト (敬称略)



白井 淳夫
(アルトサククス)



武田 幸夫
(テナーサククス)



高浜 和英
(ピアノ&ボーカル)



武田 悟
(ベース)



池畑 外雄
(ドラム)



参加者の声 (高棕地区)

※来場者アンケートから

白井淳夫さん好きだから来て良かった。

楽しい時間をありがとうございました。プロの演奏を堪能できました。

やっぱり生演奏は最高です。すばらしい演奏会ありがとうございました。どの楽器も最高。軽やかなピアノに合わせたボーカル、とても素敵でした。

アットホームな雰囲気でも、しかも無料で本格的な演奏が聴けて、とても有意義だった。

クリスマスは子どものためだけではなく、大人の素敵なクリスマスを過ごせました。合間のゆるいMCも良かったです。

ジャズは良いですね! 感謝です。体全体でスウィングしましたよ!

プロの演奏をこんな間近で聴けて最高でした。楽器が演奏できることもうらやましい。

こうした機会はないので、孫にも本格的な演奏を聴かせたいと思い来ました。もう少し聴きなれた曲もあると良かったです。

二本松になぜ金次郎石像

この石像は、大正十五年まで存在した高椋西尋常小学校（西校・今福地籍）の前庭に立てられていた。昭和十年頃、この二本松の場所に「高椋青年学校」が開校し、当時義務教育六年を終えた男子生徒たちが農業や商業を学んでいたが、この学校は昭和二十一年で閉校となった。この場所に「青年学校」があったことを後世に伝えたいと、昭和中期頃、この石像が二本松に移されたと伝えられている。この場所は戦国時代以降、丸岡街内・福井・鳴鹿の各方面への三

差路に位置し、さらに湧き水場があったことから、旅人の休憩場ともなり、地元民は生活用水に利用し、祠を造つて水の恵みに感謝していた。つい最近まで「二本松」の名前の由来となっていた根元が二本に分かれた松の大木（樹齢二百年）があった。その一本は五十年前程前に落雷で、残る一本は枯れて令和四年十月二十八日に伐採され、現在は石像と祠だけとなっている。

（松本盛博 記）



二本松の金次郎石像



令和4年10月 二本松伐採作業

令和8年 高椋地区区長会総会開催される

2月27日（金）、高椋コミセンにおいて、令和8年の高椋地区区長会総会が開催されました。今年一年、どうぞよろしくお願いたします。



ボランティアさんを募集します

①オレンジカフェたかほこスタッフ

認知症カフェ「オレンジカフェたかほこ」のボランティアとして、地域の方たちと楽しいひと時を過ごしませんか。

スタッフには専門職も参加しているので、初めての方でも大丈夫。カフェという日常的な場で交流することを通じて、認知症への偏見をなくし、認知症になっても暮らしやすい地域を作るきっかけとなる場として開催しています。



- ①活動内容 受付、会場準備、利用者の話し相手
- ②開催時期 毎月第1・第3水曜日
午後1時～3時頃
- ③開催場所 高椋コミセン2階 健康スタジオ
- ④募集対象 地域住民どなたでも（年齢・性別問わず）
- ⑤問合せ 西岡 (TEL090-8265-9020)
または、たかむくのまちづくり協議会
(TEL68-0843)

②高椋子ども見守り隊員

見守り隊には、子どもたちの交通安全を見守る活動もありますが、腕章をつけて外に出ているだけで、不審者を寄せつけにくくする効果があります。

地域のあちこちに腕章をつけた人がいたら、子どもに悪いことをしようとする人は近寄れません。学校から帰って外に出るときも、見守り隊の腕章をつけた人を見つければ、子どもたちは安心します。一人でも多くの隊員が必要なので、皆様のご協力をお願いします。



- ①活動内容 子どもの安全を見守る
(交通安全や不審者抑止効果)
- ②活動時間 小学校の登下校時または日常生活
(買い物や散歩など)の無理のない範囲で
- ③開催場所 自宅周辺
- ④募集対象 地域住民どなたでも（年齢・性別問わず）
- ⑤申し込み 高椋コミュニティセンター
(TEL68-0843)

編集後記

一月は行く、二月は逃げる、三月は去るといいますが、まさにあつという間に過ぎました。雪もとけ、庭に目をやると梅の花が咲き、小さいクロッカスも咲きはじめ、春の訪れを感じたまでは良かったのですが、あれもこれも忙しく、字のごとく「心が亡くなって」いたワタシ。
さあで、おいしいお茶を飲んでいっぶく。まだまだ頑張りますよ。
(マダムA)

